

議案第 9 1 号

令和 8 年度秩父市下水道事業会計補正予算（第 2 回）

第 1 条 令和 8 年度秩父市下水道事業会計の補正予算（第 2 回）は、次に定めるところによる。

第 2 条 令和 8 年度秩父市下水道事業会計予算（以下「予算」という。）第 2 条に定めた業務の予定量を次のとおり補正する。

（ 項 目 ）	（ 補 正 前 ）	（ 補 正 後 ）
（ 2 ）農業集落排水事業		
八 主要な建設改良事業		
管路改築事業	4,700 千円	12,700 千円

第 3 条 予算第 4 条に定めた資本的収入及び支出の予定額を次のとおり補正する。

（ 科 目 ）	（ 既 決 予 定 額 ）	（ 補 正 予 定 額 ）	（ 計 ）
	収	入	
第 2 款 農業集落排水事業資本的収入	30,138 千円	8,000 千円	38,138 千円
第 1 項 企 業 債	29,700 千円	8,000 千円	37,700 千円
	支	出	
第 2 款 農業集落排水事業資本的支出	73,210 千円	8,000 千円	81,210 千円
第 1 項 建 設 改 良 費	15,611 千円	8,000 千円	23,611 千円

第 4 条 予算第 6 条に定めた起債の限度額「4,700 千円」を「12,700 千円」に改める。

令和 8 年 8 月 2 6 日提出

秩 父 市 長 清 野 和 彦

令和8年8月26日提出

補正予算に関する説明書

令和8年度 秩父市下水道事業会計

資本的收入及び支出

(収 入)

款	項	目
2 農業集落排水事業資本的收入		
	1 企業債	
		1 建設改良費等の財源に充てるための企業債
資 本 的 収 入 合 計		

(支 出)

款	項	目
2 農業集落排水事業資本の支出		
	1 建設改良費	
		2 管路改築費
資 本 的 支 出 合 計		

補正予算（第2回）実施計画

（単位：千円）

既決予定額	補正予定額	計	備 考
30,138	8,000	38,138	
29,700	8,000	37,700	
4,700	8,000	12,700	
30,138	8,000	38,138	

（単位：千円）

既決予定額	補正予定額	計	備 考
73,210	8,000	81,210	
15,611	8,000	23,611	
4,700	8,000	12,700	
73,210	8,000	81,210	

令和8年度 秩父市下水道事業予定キャッシュ・フロー計算書

(令和8年4月1日から令和9年3月31日まで)

(単位：千円)

1	業務活動によるキャッシュ・フロー	
	当年度純利益	△ 134,120
	有形固定資産の減価償却費	615,003
	有形固定資産の除却費	8,575
	貸倒引当金の増減額（△は減少）	194
	賞与引当金の増減額（△は減少）	670
	法定福利費引当金の増減額（△は減少）	147
	長期前受金戻入額	△ 309,146
	支払利息及び企業債取扱諸費	63,720
	未収金の増減額（△は増加）	△ 37,498
	たな卸資産の増減額（△は増加）	△ 6,000
	未払金の増減額（△は減少）	<u>△ 41,896</u>
	小計	159,649
	利息の支払額	<u>△ 63,720</u>
	業務活動によるキャッシュ・フロー	95,929
2	投資活動によるキャッシュ・フロー	
	国庫補助金等による収入	139,371
	固定資産取得・建設改良事業等実施額	△ 533,927
	特定収入分の消費税取崩金	<u>△ 11,516</u>
	投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 406,072
3	財務活動によるキャッシュ・フロー	
	建設改良等の財源に充てるための企業債による収入	515,200
	建設改良等の財源に充てるための企業債の償還による支出	<u>△ 421,407</u>
	財務活動によるキャッシュ・フロー	93,793
	資金増加額（又は減少額）	△ 216,350
	資金期首残高	<u>658,291</u>
	資金期末残高	441,941

余 白

令和8年度 秩父市下水道事業予定貸借対照表(当年度分)

(令和9年3月31日)

(単位：円)

資 産 の 部

1 固定資産

(1) 有形固定資産

イ 土地		525,779,239	
ロ 建物	1,467,635,410		
建物減価償却累計額	<u>△ 1,069,041,984</u>	398,593,426	
ハ 構築物	22,723,015,284		
構築物減価償却累計額	<u>△ 12,021,206,335</u>	10,701,808,949	
ニ 機械及び装置	6,012,228,887		
機械及び装置減価償却累計額	<u>△ 4,451,190,190</u>	1,561,038,697	
ホ 車両運搬具	14,550,726		
車両運搬具減価償却累計額	<u>△ 13,823,189</u>	727,537	
ヘ 工具、器具及び備品	13,003,789		
工具、器具及び備品減価償却累計額	<u>△ 11,844,402</u>	1,159,387	
ト 建設仮勘定		<u>30,824,000</u>	
有形固定資産合計			13,219,931,235

(2) 無形固定資産

イ 電話加入権		<u>1,820,000</u>	
無形固定資産合計			<u>1,820,000</u>
固定資産合計			13,221,751,235

2 流動資産

(1) 現金預金		441,941,145	
(2) 未収金	96,971,866		
貸倒引当金	<u>△ 687,154</u>	96,284,712	
(3) 貯蔵品		11,687,700	
(4) 前払金		<u>15,698,600</u>	
流動資産合計			<u>565,612,157</u>
資 産 合 計			<u><u>13,787,363,392</u></u>

(単位：円)

負 債 の 部

3 固定負債

(1) 企業債	<u>4,149,080,793</u>	
固定負債合計		4,149,080,793

4 流動負債

(1) 企業債	432,241,387	
(2) 未払金	53,754,151	
(3) 引当金	<u>12,922,000</u>	
流動負債合計		498,917,538

5 繰延収益

長期前受金	15,228,151,683	
長期前受金収益化累計額	<u>△ 8,860,068,510</u>	
繰延収益合計		<u>6,368,083,173</u>
負 債 合 計		<u><u>11,016,081,504</u></u>

資 本 の 部

6 資本金		2,051,522,578
-------	--	---------------

7 剰余金

(1) 資本剰余金		
イ 国庫補助金	258,730,631	
ロ 他会計補助金	14,286,545	
ハ 受贈財産評価額	<u>17,551,543</u>	
資本剰余金合計		290,568,719
(2) 利益剰余金		
イ 減債積立金	96,069,083	
ロ 当年度未処分利益剰余金	<u>333,121,508</u>	
利益剰余金合計		<u>429,190,591</u>
剰余金合計		<u>719,759,310</u>
資本合計		<u>2,771,281,888</u>
負債資本合計		<u><u>13,787,363,392</u></u>

I 重要な会計方針

令和6年度から農業集落排水事業及び戸別合併処理浄化槽事業に地方公営企業法を適用し、両事業特別会計を下水道事業会計（令和元年度地方公営企業法適用）に統合するに伴い、両事業の資産、負債及び資本の全てを下水道事業会計に引き継ぎ、財務諸表等を作成している。

1 資産の評価基準及び評価方法（減損会計に係るものを除く）

（1）たな卸資産の評価基準及び評価方法

イ 貯蔵品 先入先出法に基づく原価法

2 固定資産の減価償却の方法

（1）有形固定資産

イ 減価償却の方法	定額法
ロ 主な耐用年数	
建物	15年 ～ 50年
構築物	10年 ～ 50年
機械及び装置	6年 ～ 20年
車両運搬具	4年 ～ 5年
工具、器具及び備品	4年 ～ 5年

（2）無形固定資産

イ 減価償却の方法	定額法
ロ 主な耐用年数	
電話加入権	

3 引当金の計上方法

（1）退職給付引当金

職員の退職手当に関する負担金は、埼玉県市町村総合事務組合負担金条例（平成18年組合条例第21号）第3条に規定する一般負担金を除き、すべて一般会計が負担することとしているため、退職給付引当金は計上していない。

（2）賞与引当金

職員の期末手当及び勤勉手当の支給に備えるため、当年度末における支給見込額に基づき、当年度の負担に属する額を計上している。

（3）法定福利費引当金

職員の期末手当及び勤勉手当に係る法定福利費の支出に備えるため、当年度末における支出見込額に基づき、当年度の負担に属する額を計上している。

（4）貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、貸倒実績率等による回収不能見込み額を計上している。

4 その他会計に関する書類の作成のための基本となる重要な事項

（1）消費税及び地方消費税の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっている。

II 貸借対照表等関連

1 企業債の償還に係る他会計の負担

貸借対照表に計上されている企業債（当該年度末日の翌日から起算して1年以内に償還予定のものも含む。）のうち、他会計が負担すると見込まれる額は 2, 9 5 5, 5 5 4 千円である。

2 賞与引当金、法定福利費引当金の取崩し

令和8年6月において、期末手当及び勤勉手当の支給並びにこれらに係る法定福利費を支出することとなるため、賞与引当金 1 0, 1 0 2 千円、法定福利費引当金 2, 0 0 3 千円を取り崩す。

III セグメント情報の開示

1 報告セグメントの概要

秩父市下水道事業会計は、公共下水道事業、農業集落排水事業及び戸別合併処理浄化槽事業を運営しており、公共下水道事業、農業集落排水事業及び戸別合併処理浄化槽事業の3つを報告セグメントとしている。

なお、各報告セグメントに属する事業の内容は以下のとおりである。

事業区分	事業内容
公共下水道事業	市街地における汚水（生活排水等）排除及び処理、雨水排除
農業集落排水事業	農業集落における汚水（生活排水等）排除及び処理
戸別合併処理浄化槽事業	上記以外における汚水（生活排水等）排除及び処理

2 報告セグメントごとの営業収益等

当年度（自 令和8年4月1日 至 令和9年3月31日）

（単位：千円、税抜）

	公共下水道事業	農業集落排水事業	戸別合併処理浄化槽事業	合計
営業収益	537, 212	26, 404	30, 667	594, 283
営業費用	1, 073, 008	153, 774	150, 270	1, 377, 052
営業損益	△ 535, 796	△ 127, 370	△ 119, 603	△ 782, 769
経常損益	△ 77, 040	△ 24, 211	△ 27, 230	△ 128, 481
セグメント資産	10, 223, 683	2, 076, 095	1, 487, 585	13, 787, 363
セグメント負債	7, 810, 536	1, 846, 910	1, 358, 636	11, 016, 082
その他項目				
他会計負担金	90, 013	0	0	90, 013
他会計補助金	254, 868	51, 088	49, 706	355, 662
減価償却費	444, 467	83, 170	87, 366	615, 003
特別利益	1	1	1	3
特別損失	90	90	9	189
純損益	△ 77, 583	△ 24, 754	△ 31, 783	△ 134, 120
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	△ 14, 459	△ 60, 573	△ 14, 619	△ 89, 651

IV その他の注記

1 地方公営企業法適用時における固定資産帳簿価額等

資産の老朽化度合いを把握するため、資産取得時の取得価額を貸借対照表に計上するとともに、資産取得時から減価償却が行われてきたものとして算定した減価償却累計額を計上している。また、繰延収益についても同様に計上している。